

目 次

序 章—はしがきに代えて—	池内正幸・窪蘭晴夫・小菅和也	<i>iii</i>
------------------------	----------------	------------

第 I 部 英語学・言語学と英語授業

第 1 章 英語史の知識を活かす	秋元実治	2
第 2 章 文法説明と生成文法の知見 —教科書の文例を手がかりに—	池内正幸	14
第 3 章 意味論・語用論を活かした英語の授業 —“x as ... as y” 構文の意味解釈をめぐる—	澤田治美	35

第4章	認知言語学から見た英語教育 —構文パラフレーズの問題を中心に—	山梨正明	55
第5章	語研研究グループと英語学の知見 —これまでの研究から—	田島久士	70
第6章	英語学に期待するもの —第2の R. A. クローズをめざして—	八宮孝夫	84

第 II 部 文型と構文

第7章	学校英文法を少し斜めから	中島平三	104
第8章	5文型は学習上役に立たない	中村 捷	119

第9章	自動詞から他動詞へ —他動詞文の構造パターンを利用して—	大庭幸男	137
第10章	英語の補部形式と事態の統合について	岡田禎之	158
第11章	他動詞表現と自動詞表現の意味の違い	高見健一	177

第 III 部 冠詞と時制

第12章	英語の冠詞体系の不思議さ	今西典子	198
第13章	学習英文法と時制の概念をめぐって	金子義明	217
第14章	時制の一致の現象を探る	千葉修司	233

第 IV 部 日本語との対照

第 15 章	英語と日本語のアクセント	窪藺晴夫	250
第 16 章	「する」型言語と「なる」型言語 —日英語の類型論的比較—	加賀信広	268
第 17 章	Have you seen him yet? は なぜ「 <u>もう</u> 彼に会いましたか？」なのか	吉村あき子	285
索 引		305